



えんじゅ

春日市立春日小学校
校長室便り No.6
令和3年7月16日
文責：校長 福島

朝の風景



毎朝私は玄関側と西側の門に交互に立って子供たちを迎えています。子供たちとふれあえる貴重でとても楽しい時間です。約30分ですが、毎日いろんなドラマがあります。

今朝は、3年生の子供が「校長先生！」と学校の中から駆け寄ってきました。何か持っています。鳥の巣です。「校舎の上の方にあったのが落ちたみたいです。」たくさんの子供が珍しそうに群がってきました。「どうしようか。」「元の場所に戻したいんだけどなあ…。そうだ、音琴先生に相談してみよう。」駆けて行きました。

「校長先生、大変です。1年生の子が階段でこけてけがしました。」ランドセルを高学年の子が、水筒や小さな荷物を回りの子が持ち、寄り添いながら登校してきました。「今から保健室に連れていきます。」優しい子供たちです。頼もしかったです。

「校長先生、僕をよーく見てください。何か気づきませんか?」「えー、何だろう。」「もっとちゃんと見てください。」「教えて。」「靴ですよ!」「本当だ。カッコいいねえ。」蛍光グリーンのピッカピッカの靴を履いたその子は軽やかに昇降口に向かって行きました。

「ああ、ランドセルが…。」1年生がランドセルを手に持って助けを求めてきました。ふたが閉まらないようです。閉めて背負わせてあげました。「ありがとうございます。」ランドセル、結構重たいですね。荷物の軽量化については対策を行っていますが、さらに検討をしていきます。

セミの抜け殻や、いろんな生き物を持ってくる子もたくさんいます。誰かに見せたいのでしょうね。子供の好奇心は素晴らしいです。エアタッチでなく、ジャンピングヘッドタッチをしてくる子もいます。エネルギーが有り余っているようで、毎朝元気をもらっています。

子供のエネルギーってすばらしい。それを引き出す環境づくりは大人の役割。本年度の重点目標は「潤いのある学校・家庭・地域づくり」です。「笑顔がある・安心がある・対話がある」朝の30分ですが、意識して立っています。家庭がさらに潤うための30分、意識してみませんか。